

# 「木になるフェスティバル」開催記

企業支援部 技術支援グループ 奥山卓也

第22回木のグランドフェア「木になるフェスティバル」（主催：地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場，一般社団法人北海道林産技術普及協会）を，7月27日（土）に開催しました。当日は朝方雨が降っていたのですが開会式後には雨も上がり，午後からは晴天に恵まれ，約700名の来場者で賑わいました。

開会式には「林産試スタンプラリー」の台紙配布の効果もあって，約100人が集まり盛大に行われました。

主催者あいさつの後に行われたオープニングログカットには，林産試験場松尾場長，（一社）北海道林産技術普及協会高橋会長，上川総合振興局南部森林室塚田室長のほか，旭川市在住の小学生の女の子にも参加してもらいました。

開会式終了後，各催事がスタートし，来場者は思い思いの催事を楽しんでいました。

各催事内容は次のとおりです。



主催者・来賓・来場者によるログカット

## ・「木のはてな？2013」

木にまつわる素朴な疑問について，5つのコーナーで体験してもらいながら答えていきました。

- ① 生の木と乾いた木で強さが違うの？
- ② 柱は正方形なのに梁はなぜ長方形なの？
- ③ 木を食べるモンスターがいるってホント？
- ④ 木はあたたかいの？

## ⑤ 木の種類によってにおいはちがうの？

参加者は5つあったコーナーそれぞれで，木材の上に乗ったり，木のおいをかいだりして，木の丈夫さや樹種によってのいろいろな違いなどを体感していました。



科学体験「木のはてな？2013」

## ・「木の音を楽しむおもちゃづくり」

こすったり，たたいたりして音を出す簡単な木のおもちゃで，等間隔に溝をつけた角棒を丸棒でこすってカエルの鳴き声のような音を出す「かえるギロギロ」と木片2枚をゴムひもで結んだカスタネットのような「小スタネット」の2種類を制作しました。



工作体験「木の音を楽しむおもちゃづくり」

「かえるギロギロ」の制作にあたり、初めてノコギリを使用する子どもが多く、ノコギリを持つ手が緊張していましたが、説明員の指導により無事おもちゃを完成させていました。

・「丸太をむいたら（実演）」

「ロータリーレース」で丸太をけずって薄くて長い板をつくるところを見学してもらいました。

・「木をつぶしたら（実演）」

「ホットプレス」を使用し木材を押しつぶしていく様子を実演しました。

参加者は木材の形が変わっていく様子を興味深く見ていました。

来場者アンケートでも「木をつぶしたら水がでてきてびっくりした」「実演がとても良かった」と好評でした。



「木をつぶしたら（実演）」参加者も興味津々

・「木の内装すき？きれい？」

道産カラマツの内装材の好き嫌いを評価してもらいました。

・「新品種きのこのNST総選挙」

新しい品種のきのこ「ヌメリスギタケモドキ（NST）」を試食後、見た目や食味で「いいね」と思ったものを投票してもらい、人気を競いました。「どれもおいしい」と皆さん悩みながら投票していました。

なお、投票結果については林産試験場ホームページ (<http://www.fpri.hro.or.jp/>) に掲載予定なので、ご覧ください。



「新品種きのこNST総選挙」「みんなおいしいね」

・「この木なんの木」

木を実際に触れて木の重さや色の違いを比べたり、顕微鏡で観察しながら、木にはいろいろな種類があることを確かめてもらいました。

・「木でワクワクコンピュータクイズ」

木に関するクイズをパソコンで答えてもらい、職員が問題について解説を加えながら「参加認定書」を渡すなど木について楽しく勉強しました。



「木でワクワクコンピュータクイズ」

・「お酢でパワーアップ？アセチル化木材ミニ実験」

アセチル化木材（お酢の成分で処理した木材）の高い寸法安定性をミニ実験をとおして体感してもらい、子ども達はその効果に驚いていました。

・「バイオマステーリングミンミン」

形を変えた木の使い方を体験する3つのメニュー

を用意しました。

①せみ笛をつくろう

竹や松ヤニ等を使ってせみ笛を制作しました。

②バイオマス燃料を知ろう ペレット

木からつくる燃料，ペレットを紹介しました。

③いぶり処「The燻製」&「Theポップコーン」

バイオマス燃料を利用し調理したポップコーンや燻製のチーズ等提供しました。

いずれも「チーズおいしかった!」「大人も童心に返って工作したいと思った」など好評でした。



「バイオマステーリングミンミン」

・「りんさんしめぐり」

林産試験場を知ってもらうために、場内のいろいろな施設を機械の実演を見たり、説明を聞きながらめぐるもので、参加者はヘルメットをかぶりながら颯爽と林産試験場構内を歩いていました。



「りんさんしめぐり」さあ行くぞ!!

・「歩くいず」

林産試験場構内に林産試験場や木材に関するクイズを設置し、全問正解者には記念品をプレゼントしました。

また、林産試験場以外の方にもフェスティバルの協力をいただきました。

・「木育ゲーム」

鈴木木育マイスターによる「あの木の材積は?」「あの木の高さは?」「森のモノ，記憶力ゲーム」など会場内にある樹木を使いゲーム感覚で樹高や材積を調べたり，木の実や葉っぱを集めたりするもので，参加者は楽しく木のことについて学んでいました。



鈴木木育マイスターによる「木育ゲーム」

・「ぶちクラフトコーナー」

毎年出展協力をいただいている上川総合振興局では「小さな自然素材を利用した，日常生活に小さな潤いを与えてくれる，小さなクラフトづくりの場を提供する。」をテーマにクラフトづくりを行いました。

参加者はペンダントやキーホルダー，表札など思い思いの作品を作成していました。



「ぶちクラフトコーナー」「表札をつくっているよ」

・「ピアノコンサート」

旭川市在住のシンガーソングライター八幡映美さんによるピアノと桑島美保さんによるクラリネットの演奏が行われました。

童謡やアニメの主題歌などの演奏に子どもたちは大喜びで、会場は大いに盛り上がりました。



八幡映美さんと桑島美保さんのコンサート

以上、今年の「木になるフェスティバル」について紹介しました。

今年で22回目を迎えたこのイベントは、旭川市内での夏のイベントのひとつとして、すっかり地域に定着したのではないかと考えております。

これからも工夫しながら、いろいろな形で「林産試験場はこんなことしているんだ!」や「木材っていいものだな」など「林産試験場」や「木の良さ」について知っていただくための催事を考えていく予定です。

リピーターの方はもちろん、まだ「木になるフェスティバル」に来たことのない方々も、来年は是非気軽に遊びにきてください。お待ちしております。